

平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月12日

上場会社名 株式会社スーパー大栄 上場取引所 福
 コード番号 9819 URL <http://www.superdaiei.com>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)松島 三秋
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名)阪本 博美 (TEL) 093(602)2770
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	10,543	△5.2	△285	—	△300	—	△437	—
27年3月期第2四半期	11,123	△3.1	△313	—	△326	—	△398	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	△48.87	—
27年3月期第2四半期	△44.47	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	9,748	1,946	20.0
27年3月期	10,204	2,393	23.5

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 1,946百万円 27年3月期 2,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	—	△85	—	△100	—	△240	—	△26.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成28年2月期は決算期変更により平成27年4月1日から平成28年2月29日までの11ヶ月間となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年2月期2Q	8,972,000株	27年3月期	8,972,000株
28年2月期2Q	11,890株	27年3月期	10,126株
28年2月期2Q	8,960,837株	27年3月期2Q	8,963,074株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(業績の推移)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融政策の効果で企業収益や雇用情勢・所得環境は改善傾向となり、景気は緩やかに回復してまいりました。しかしながら、小売業界におきましては、消費増税による消費低迷や販売競争の激化が響き厳しい環境が続いております。

このような状況のなか、当社は、平成27年2月、株式会社イズミの連結子会社となり、あらゆる面においてスケールメリットを活かしながら、イズミ主導で店舗の活性化を図ってまいりました。SM店舗については平成27年4月に改装が遅れていた、国分店、サンショップ若松店、津屋崎店、若園店、幡生店を随時改装、さらに、5月にサンディ宮松店を改装致しました。

これにより、業務提携後における店舗の活性化は終了致しました。今後は引き続き、改装店舗の業績を早急に軌道に乗せるため人財育成や販売促進などソフト面での活性化に力点を置き、企業価値の向上に努めてまいります。

また、ショッピング・カード《ゆめカード》及び電子マネー《ゆめか》については、お客様の利便性向上や固定客作りなど販売促進活動に大きな期待ができるため、カードホルダーの増加についても積極的に拡大していく方針です。

一方、平成26年8月、株式会社マツモトキヨシとフランチャイズ契約を締結し、「ゆめドラッグ本城」を皮切りに「行橋店」「豊前店」「大刀洗店」「中津店」をそれぞれ新規オープンするなどしてドラッグストア業態に新規参入しましたところ、利便性が良いとの評判も次第に高まり集客力アップに繋がっております。

他方、生鮮売上高比率の高いフレッシュ8店舗におきましては、顧客の魚離れ傾向を見越して生鮮売り場を縮小する一方、一般食品売り場を拡大し品揃えの豊富さと魅力で顧客の利便性を図ってまいりましたが、生鮮食品の売り上げ減少を補うまでには至りませんでした。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は10,543百万円(前年同四半期比5.2%減)、営業損益は285百万円の営業損失(前年同四半期は313百万円の営業損失)、経常損益は300百万円の経常損失(前年同四半期は326百万円の経常損失)となり、四半期純損益は437百万円の四半期純損失(前年同四半期は398百万円の四半期純損失)となりました。

なお、事業部門別売上高は次のとおりであります。

事業部門	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前年同四半期増減率(%)
	(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)		(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)		
	売上高(百万円)	構成比(%)	売上高(百万円)	構成比(%)	
小売業					
生鮮食品	6,574	59.1	5,949	56.5	△9.5
一般食品	3,514	31.6	3,637	34.5	3.5
日用雑貨	306	2.7	243	2.3	△20.6
その他	643	5.8	625	5.9	△2.8
計	11,038	99.2	10,455	99.2	△5.3
その他の事業	84	0.8	87	0.8	3.3
合計	11,123	100.0	10,543	100.0	△5.2

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第2四半期末の総資産は、前期末比455百万円減少し、9,748百万円となりました。

流動資産は、前期末比174百万円減少し、1,676百万円となりました。これは、現金及び預金が224百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前期末比280百万円減少し、8,072百万円となりました。これは、敷金の精算が増加し、投資その他の資産の中の敷金・保証金が92百万円減少したことや、器具及び備品等の有形固定資産が129百万円減少したことなどによります。

流動負債は、前期末比9百万円減少し、4,616百万円となりました。これは、短期借入金が940百万円増加したものの、買掛金が747百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前期末比1百万円増加し、3,185百万円となりました。これは、退職給付引当金が53百万円減少したものの、長期借入金が70百万円増加したことなどによります。

純資産は、前期末比446百万円減少し、1,946百万円となりました。これは、四半期純損失437百万円を計上したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前期末比224百万円減少し、755百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主たる増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務等の資金決済の一部変更が減少等のマイナス要因になり、1,094百万円のマイナス（前年同四半期は485百万円のプラス）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、敷金及び保証金の回収による収入等のプラス要因がありましたが、有形及び無形固定資産の取得による支出等のマイナス要因により、105百万円のマイナス（前年同四半期は185百万円のマイナス）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出等のマイナス要因がありましたが、短期借入金の増額等のプラス要因により、975百万円のプラス（前年同四半期は408百万円のマイナス）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月15日に発表しました業績予想の修正を行っております。

詳しくは本日付けの「平成28年2月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに繰延税金資産の取崩し、減損損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	979,358	755,005
売掛金	31,690	47,029
商品	680,054	694,870
その他	160,385	179,615
流動資産合計	1,851,488	1,676,521
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,058,394	3,016,891
土地	2,900,189	2,900,189
その他(純額)	1,177,767	1,089,993
有形固定資産合計	7,136,352	7,007,074
無形固定資産	178,394	168,136
投資その他の資産	1,038,073	897,174
固定資産合計	8,352,820	8,072,385
資産合計	10,204,308	9,748,907
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,505,313	757,592
短期借入金	1,510,000	2,450,000
1年内返済予定の長期借入金	720,000	748,000
未払法人税等	24,057	18,680
賞与引当金	62,000	55,000
ポイント引当金	7,000	4,806
店舗閉鎖損失引当金	11,905	1,899
その他	786,313	581,011
流動負債合計	4,626,589	4,616,989
固定負債		
長期借入金	1,932,000	2,002,000
退職給付引当金	660,426	607,062
役員退職慰労引当金	111,009	97,560
その他	481,252	479,223
固定負債合計	3,184,687	3,185,846
負債合計	7,811,277	7,802,836

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,798,236	1,798,236
資本剰余金	1,693,008	543,625
利益剰余金	△1,149,383	△437,925
自己株式	△1,955	△2,252
株主資本合計	2,339,906	1,901,683
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	53,125	44,387
評価・換算差額等合計	53,125	44,387
純資産合計	2,393,031	1,946,070
負債純資産合計	10,204,308	9,748,907

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	11,123,218	10,543,243
売上原価	8,527,464	7,889,002
売上総利益	2,595,753	2,654,241
営業収入	191,806	160,494
営業総利益	2,787,560	2,814,736
販売費及び一般管理費	3,101,026	3,100,221
営業損失(△)	△313,466	△285,484
営業外収益		
受取利息	1,585	1,405
受取配当金	2,317	2,519
その他	4,148	2,728
営業外収益合計	8,051	6,653
営業外費用		
支払利息	19,655	20,195
その他	1,002	1,631
営業外費用合計	20,658	21,827
経常損失(△)	△326,073	△300,658
特別利益		
固定資産売却益	1,374	—
投資有価証券売却益	—	985
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	4,493
受取保険金	2,291	128
特別利益合計	3,666	5,607
特別損失		
減損損失	—	18,938
固定資産除却損	56,842	32,829
店舗閉鎖損失引当金繰入額	20,910	—
その他	4,768	7,472
特別損失合計	82,522	59,240
税引前四半期純損失(△)	△404,928	△354,292
法人税、住民税及び事業税	8,021	8,374
法人税等調整額	△14,323	75,259
法人税等合計	△6,301	83,633
四半期純損失(△)	△398,627	△437,925

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△404,928	△354,292
減価償却費	176,608	278,993
減損損失	—	18,938
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△985
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	19,360	△10,006
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,819	△53,363
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,506	△13,448
賞与引当金の増減額(△は減少)	34,000	△7,000
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△481	△2,193
受取利息及び受取配当金	△3,903	△3,925
支払利息	19,655	20,195
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,374	—
固定資産除却損	40,519	25,738
売上債権の増減額(△は増加)	△4,401	△15,339
たな卸資産の増減額(△は増加)	22,451	△14,611
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△40,437	△58,734
仕入債務の増減額(△は減少)	304,879	△747,720
その他の流動負債の増減額(△は減少)	332,500	△134,382
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△105	△70
その他	15,213	12,318
小計	508,244	△1,059,888
利息及び配当金の受取額	2,427	2,654
利息の支払額	△17,633	△19,887
法人税等の支払額	△7,779	△17,528
営業活動によるキャッシュ・フロー	485,258	△1,094,649
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△188,288	△208,175
有形固定資産の売却による収入	1,555	—
投資有価証券の売却による収入	—	1,168
貸付金の回収による収入	317	162
建設協力金の支払による支出	△4,668	△4,668
建設協力金の回収による収入	15,270	15,270
敷金及び保証金の差入による支出	△10,825	△19,509
敷金及び保証金の回収による収入	825	110,313
その他	80	210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△185,733	△105,229

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△240,000	940,000
長期借入れによる収入	200,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△324,000	△402,000
リース債務の返済による支出	△43,942	△62,176
自己株式の取得による支出	△162	△296
財務活動によるキャッシュ・フロー	△408,104	975,526
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△108,579	△224,352
現金及び現金同等物の期首残高	1,164,122	979,358
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,055,542	755,005

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(業績の推移)

(百万円未満切捨て、%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期 第2四半期	12,794	△6.3	△51	—	△67	—	△115	—
25年3月期 第2四半期	12,060	△5.7	28	—	16	—	△23	—
26年3月期 第2四半期	11,477	△4.8	△48	—	△62	—	△107	—
27年3月期 第2四半期	11,123	△3.1	△313	—	△326	—	△398	—
28年2月期 第2四半期 (当第2四半期)	10,543	△5.2	△285	—	△300	—	△437	—
	7期連続減収		3期連続営業損失		3期連続経常損失		7期連続四半期純損失	